

KiKiの広場

2016年 9月 1日

cafe NO.71
KiKi



本当に暑い暑い夏でした。オリンピックでは、今回もたくさんの感動をもらいました。メダルの色が銀色になって、「すみません！」と謝る選手に、メダルの色だけでなく、たとえ取れなくても、これまでの努力と一生懸命やったことに変わりはない、胸を張ってほしいと、どれだけ涙したかわかりません。次はパラリンピックですね。こちら心こめて応援したいです！

スポーツだけではなく物事に真摯に打ち込む姿は、本当に美しくかっこいいものだと思います。そんな打ち込めるものに出会えることも幸せなことではないでしょうか。普段生活している中にもそんな出会いはたくさんころがっているでしょう。出会えたと気付けるか素通りするかは、その人の思い・考え次第なのかもしれません。

9月の予定

休館日	13日(火)
定休日	毎土・日曜日



「今日のケーキ」・・・「マロンケーキ」350円

マロンクリームをカラメル風味のスポンジではさんで、クラッシュマロンとマロンペーストをトッピングした、毎年人気のケーキです。

今月のお気に入り・・・「お月さまを楽しむ絵本」

～「おつきさま」「もんぱんアリと、月」「月夜のオーケストラ」「お月さまってどんなあじ?」「月のみはいぼん」など～



夜空が吸い込まれるほど美しい、画家の葉祥明さんが描いた「おつきさま」。ページを開くたびに目に飛び込んでくる青・蒼・碧のグラディエーション。静かに語りかける詩のようなお話も素敵です。夜になったら誰かさんのことを思いながら、お月さまを見上げてみたいなあ・・・そんな優しい気持ちになります♡

「もんぱんアリと、月」は、そもそも「もんぱんアリって何?」ですよね。頭だけが異常に大きいもんぱんアリの仕事というか運命を思うと、何とも悲しく切ない気持ちになってきますが、とにかくこちら挿絵がすごくきれいです。「青い鳥」の作者メーテルリンク著の「蟻の生活」がきっかけになったとか。蟻たちが繰り広げる光景は、人間の認識を越えているそうです。こちらぜひ読んでみたいと思いました。



今月の本欄・・・「秋を感じる絵本」

～「ファーディーとおちぼ」「もりのかくれんぼう」「14ひきのあきまつり」「ちゃっくいがきいふ」「やまなしもぎ」などなど～



これだけ相手のことを思えるでしょうか・・・こぎつねのファーディーの切ないくらい優しい想いに、涙が出そうになります。ファーディーの大切な友だちは、みどりの葉っぱをたくさんつけた大きな木。秋になって茶色く変化し、日に日に葉っぱが落ちていく友だちを、必死になって助けようとする健気なファーディーの様子に胸がいっぱいになります。最後の葉っぱが落ちた次の日、ファーディーの想いに大きな木は答えてくれます。優しいタッチのイラストも、とっても素敵です。

ほっとフレイク

定期的にヒストリアを利用してくださるお客さまが、今日は時間が早いからとカフェに寄って、「大人でも絵本を読んでいいんでしょ。」と、絵本を手にとって席につかれました。実は毎年絵本のプレゼントをしてくださっている方です。去年は、「たいせつなきみ」という勇気が湧くような絵本をいただきました。どんな本がいいかなと本屋さんで考えるのも楽しくてと言われていましたが、今年は時間がなくて本屋さん、「とにかく心が温まる絵本を」とお願いされたそうです。そしていただいたのが、「どんなにきみがすきだかあててごらん」です。小さなウサギと大きなウサギが、お互いにどれほど相手のことが好きか言い合うお話です。小さなウサギが全身を使ってどれだけ大きなウサギのことが好きかを、一生懸命表現している姿が愛おしくてたまりません。最後に、抱っこされたまま眠ってしまった小さなウサギを、優しく木の葉のベッドに寝かせ、そのそばに横になって微笑みながら、「好きだよ。」とささやく大きなウサギ。お互いへのあふれる想いが伝わってきて、どちらもギュッと抱きしめたくなる微笑ましい絵本です。優しさで胸がいっぱいになる温かい本を、ありがとうございました。

